

令和6年度 第11回柿崎区地域協議会 次第

日 時：令和7年3月18日（火） 午後6時30分
場 所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 自主的な審議

- (1) 柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について資料 1 資料 2
- (2) 団体との懇談結果及び自主的審議事項のテーマについて
 - ① 農業団体資料 3
 - ② 漁業団体資料 4
- (3) 視察研修の実施について資料 5

5 報告事項

- (1) まちづくりフォーラムの開催結果について資料 6
- (2) 令和7年度 柿崎区における主な事業について資料 7

6 その他

- (1) 会議の開催日程について
 - ① 第4回スポ×まちプロジェクト
日 時：令和7年3月18日（火）地域協議会本会議終了後
場 所：柿崎コミュニティプラザ 305 会議室
 - ② ジモ活 base 視察研修
日 時：令和7年3月24日（月）午後6時30分
場 所：頸城区総合事務所
 - ③ 第6回ネットワーク柿崎
日 時：令和7年4月1日（火）午後6時30分
場 所：柿崎コミュニティプラザ 市民活動室

④ 令和7年度第1回柿崎区地域協議会

日 時：令和7年4月15日（火）午後6時30分

場 所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

⑤ 令和7年度第1回柿崎区地域協議会だより編集委員会

日 時：令和7年4月15日（火）地域協議会本会議終了後

場 所：柿崎コミュニティプラザ 305 会議室

7 閉 会

第 5 回米山薬師を守る会 会議記録

日 時	令和 7 年 3 月 3 日（月） 18:30～20:40	出席者	中村副会長、小出委員、小山委員、 佐藤まゆみ委員、滝澤委員、吉井会長
場 所	柿崎コミュニティプラザ 3 階 市民活動室		
記録者	小山委員	欠席者	—
標 題		産業グループとの意見交換を踏まえた課題整理及び解決策の検討	
1 協議結果 ・ 柿崎山岳会解散後の米山登山道等の維持管理は、市が予算化して行うものとボランティアをお願いして実施するものがある。ボランティアで行うには、ボランティアの募集や周知、作業の段取りなどを担う団体が必要である。 ・ 柿崎まちづくり振興会と柿崎観光協会に、その事務局を再三お願いしてきたが受けてもらえなかったため、今後、他の団体を検討しなければならない。 ・ 既存の団体の中にボランティアの運営母体となる団体がなければ、新たに団体を立ち上げるしかない。 ※第 4 回会議と同様、ボランティアの募集や作業の段取り等を行う団体を検討したが、結論に至らなかった。 2 主な意見等 ・ 山岳会の皆さんは、米山を愛している。楽しく安全に登山してもらえようという使命感を持っている。 ・ まちづくりフォーラムで、柿崎山岳会から「解散したからと言って、協力しないわけではない」と発言があり、心強く感じた。 ・ 山岳会が担っている業務は、回数を減らしたとしても行わなければならないと思っている。 ・ 山岳会は、市や山頂避難小屋連絡協議会から業務委託を受けて、年間 25 回も米山に登っているほか、個人で米山登山をするときには草刈りや登山道の点検を兼ねている。 ・ 登山道等の維持管理は、作業内容や段取りが分からないとできないので、簡単には受けられないと思う。これまで関わってきた山岳会の協力が必要である。 ・ ボランティアを募集してまとめることは誰にでもできるが、この作業に必要な人材を確実に確保するというノウハウは非常に難しい。山岳会のメンバーがいなければうまくいかないと思う。 ・ ただし、山岳会のメンバーに頼りすぎてはいけない。山岳会は、頼まれば草刈りや倒木の処理などの作業に協力すると言われているが、それは団体の中心になって活動することではなく、作業を手伝ってもらえる程度に考えた方がよい。 3 第 6 回会議の開催日程 ・ 4 月に開催予定			

以 上

第 5 回ネットワーク柿崎 会議記録

日 時	令和 7 年 3 月 5 日 (水) 18:30～19:20	出席者	佐藤達弥委員長、石田委員、金子委員、 蓑輪委員、吉井会長
場 所	柿崎コミュニティプラザ 3 階 市民活動室		
記録者	蓑輪委員	欠席者	—
標 題	情報収集及び視察の実施について		
1 柿崎区におけるネットワークの現状 ・ 柿崎まちづくり振興会、柿崎観光協会、かきざき空き家利活用協議会は、素晴らしいホームページを開設している。 ・ しかし、現時点で各組織はネットワークの構築には消極的である。 ・ ネットワーク柿崎が目指す業務を委託するには、それぞれの組織の人員と財源の強化が必要であり、支援方法を検討しなければならない。 2 今後の取組方針 ・ 先進的な取組をしている団体・組織、自治体の調査、研究、視察を行う。 ・ <u>3 月 24 日 (月) に、頸城区のジモ活 Base を視察研修する。</u> 3 ジモ活 Base 視察の経緯 □吉井会長が説明 ・ 3 月 23 日 (日) に頸北地区地域協議会正副会長会議が開催され、各会長が地域協議会の取組状況を報告した。 ・ 柿崎区地域協議会が自主的審議事項に 3 つのテーマを決め、テーマごとに委員会を立ち上げて審議していることを説明したところ、頸城区地域協議会の上村会長からジモ活 Base を紹介され、視察研修を受け入れてもらえることとなった。 4 ジモ活 Base の視察日程 ・ 開催日時：3 月 24 日 (月) 午後 6 時 30 分 ・ 開催場所：頸城区総合事務所 ・ 対応者 ：ジモ活 Base 村松会長 頸城区地域協議会 上村会長 新保副会長 事務局職員 5 ジモ活 Base の概要 ・ 令和 6 年 1 月発足、同年 7 月にホームページを開設 ・ 頸城区のイベント、話題等を掲載 ・ 情報の投稿数 ：786 件 (ホームページ開設から 3 月 5 日まで) ・ インスタフォロワー数：932 人 (3 月 5 日現在) ・ バナー広告 ：合同会社 AMBITION、(株)だんらん、久比岐の里のほか、10 人が協賛 6 ジモ活 Base への質問内容 ・ 実のある研修とするため、事前に質問内容をまとめ視察先へ送る。質問内容は次のとおり。 ①団体を立ち上げた背景			

- ②活動資金とその調達方法
 - ③運営方法
 - ④地域団体及び企業との情報のやり取りの方法
 - ⑤総合事務所及び地域協議会の関わり
 - ⑥リンクを張るにあたって、相手方の承諾を得たのか
 - ⑦ホームページ製作費と保守管理費、ホームページ管理の仕事量
 - ⑧情報掲載料
- ※事務局が上記内容をまとめ、ジモ活 Base へ依頼する。

7 第6回会議の開催日程

- ・日時：4月1日（火）午後6時30分
- ・会場：柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室
- ・内容：ジモ活 base 視察研修のまとめ、今後の取組の検討

以 上

農業団体との懇談会 結果報告書

3 班

1 団 体 名	えちご上越農業協同組合、柿崎土地改良区、柿崎区認定農業者協議会
2 開催日時	2 月 17 日（月）午後 6 時～7 時 30 分
3 会 場	えちご上越農業協同組合はまなす支店 2 階 会議室
4 出席者数	団体：10 人 地域協議会：6 人
5 主 な 意 見	・ 農業従事者が少なくなり、農業に意欲のある人がどこにいて、何をしているのか分からない状況になった。そこで、国が認定農業者制度を作り、認定農業者協議会を立ち上げた。柿崎区認定農業者協議会は、行政からの諮問に対する答申や行政との意見交換などを主な目的とした団体であるが、最近は会員間の情報交換が活動の主体となっている。 ・ 協議会の会員は現在 69 人ほどであるが、若者がいない（後継者がいない）。組織のメンバーが固定され、役員もほぼ同じメンバーでまわしている状況である。 ・ 産業まつりを行政と共催してきたが、今後、行政が手を引くことになり不安である。 ・ 農業は収入が少なく経営が難しいことから、農業従事者が減り農業に意欲のある人に耕作地が集約されている傾向がある。 ・ 農業従事者の減少により集落に農家組合がなくなるという事態が起きている。農家組合がなくなることにより、住民に対して農業の情報発信を行う術がなくなってしまう。また、組合員も減少しており、地域住民とのつながりも薄れてきている。 ・ 柿崎区では、地域農業の担い手確保のため 30 年ほど前から東京農工大学の学生を受け入れて研修を行っている。研修後、何人かは柿崎で就農している実績がある。彼らは、地元の農業従事者では思いつかないような斬新な発想を持っているので、他地域から柿崎区に移住された人の意見を聞き、今後の農業に生かしていきたい。 ・ 稲作にとって農業用水の維持管理が課題であり、農業従事者の減少により用排水路の草刈り等の共同作業が困難になってきている。住民参加による海岸清掃と同様に、住民に農業用水の維持管理の啓発活動を行い、実情を知ってもらうことが必要ではないか。

(主な意見の続き)

- ・これからは農産物の生産、加工、販売などを一体化した6次産業化や園芸作物の導入など、街づくりを含めた事業展開が求められているが、市へ相談に行っても、関係部署になかなか対応してもらえない。市が率先して長期的な視点で地域農業の目標やグランドデザインを示し、農協や土地改良区などと連携した地域農業の総合戦略が必要だと考えている。
- ・人口減少、特に若者の流出が農業の担い手不足につながっており、さらに、農業の担い手不足が農地の荒廃化につながり、農地の荒廃化はイノシシの増加につながっている。
- ・稲作を始めるには初期投資が莫大で、引き継ぐ農機具などがなければ厳しい現状があり、設備投資に対する補助がなければできない。一定の収入を上げるには10～20ha くらいの耕作地が必要ではないかと思われる。
- ・現在、全産業で人手不足が課題となっている。農業分野においては、柿崎区で外国人実習生の実績はないが、大規模農家では短時間の農作業補助者を募集、採用し助かっていると聞いている。

自主的審議事項のテーマ（案）

○後継者問題、用排水路の維持管理、市への期待等の意見があったが、地域協議会が自主的審議事項として取り組むことができる課題はなかった。

漁業団体との懇談会 結果報告書

2 班

1 団 体 名	上越市漁業協同組合柿崎支所
2 開催日時	2 月 25 日（火）午後 6 時～7 時 25 分
3 会 場	柿崎区総合事務所 2 階 201 会議室
4 出席者数	団体：7 人 地域協議会：6 人
5 主な意見	・毎年 5 月に開催している「みなとさかなまつり」が、今年 20 回目を迎える。多くの来場者でにぎわうが、駐車場が少ないことから道路に駐車する人が多い。毎年、課題として挙げているが解決しない。駐車場の整備を強く要望する。 ・以前より波や風が大きくなり、海岸の浸食が激しい。一晩で砂浜の形が変わってしまい、浸食された砂が漁港についてしまう。 ・組合員は漁港の入り口等、漁港周辺の草刈りやごみ拾いを年 2 回行っている。釣り客も多く、ごみが散乱している。 ・子どもたちは、越後田舎体験で地引網を体験していたが、組合員の高齢化に伴い地引網ができなくなった。また、乗船体験や釣り体験をする船の安全設備が義務化され、経費と時間がかかってしまう。 ・漁業だけでは食べていけないので、後継者がいない。夏場はほとんど魚が獲れず、年間を通して安定した収入がない。 ・海水温が上がり、採れる魚の種類も大きく変わってしまった。安定して魚が獲れるようにヒラメの稚魚を放流している。また、アワビやカキ、わかめの放流も行っている。 ・こだま貝を柿崎の名物にしたいが、養殖は難しいと水産試験場から聞いた。 ・魚の消費が、戦後間もない時代から 1/3 に減り、魚を捌ける大人が少なくなってしまった。 ・上越市漁業協同組合柿崎支所の組合数 正組合員：12 人 準組合員：23 名

(主な意見の続き)

--	--

自主的審議事項のテーマ（案）

○後継者問題、漁港周辺の駐車場整備、海岸浸食等の意見があったが、地域協議会が自主的審議事項として取り組むことができる課題はなかった。

令和 7 年 3 月 5 日

柿崎区地域協議会委員 様

柿崎区地域協議会
会長 吉井 一寛

令和 6 年度 柿崎区地域協議会視察研修の実施について（ご案内）

昨年 10 月、自主的審議事項を調査・研究・検討するため 3 つの委員会を立ち上げ、課題解決に向けた審議を重ねてきました。各委員会とも現状把握が終わり、情報発信が課題解決のキーポイントとして浮かび上がってきました。

これまでの審議結果を踏まえて、情報発信に向けたさまざまなツールの調査や情報収集が必要と考え、頸城区の「ジモ活^{ベース}Base」の視察を計画しましたので、委員の皆様から参加いただきたくご案内します。

ジモ活 Base は、ホームページをはじめ SNS を上手に活用し、地元のイベントや話題等を発信していますので、各委員会の今後の審議の参考となると考えています。なお、視察に際しては、ジモ活 Base のホームページを参照のうえ、参加願います。

記

- 1 視 察 先 ジモ活 Base
 ※令和 6 年 1 月発足 同年 7 月にホームページを開設
- 2 開催日時 令和 7 年 3 月 24 日（月）午後 6 時 30 分から
- 3 視察場所 頸城区総合事務所
- 4 対応者名 ジモ活 Base : 村松会長
 頸城区地域協議会 : 上村会長
 新保副会長
 事務局職員
- 5 集合場所 午後 6 時 20 分に頸城総合事務所駐車場
- 6 交通手段 各自、自家用車で集合場所へお集まりください
- 7 参加報告 3 月 17 日（月）までに事務局へ

事務局：柿崎区総合事務所
 総務・地域振興グループ 長井、大場
電 話：536-2211（内線 216）
F A X：536-2227
E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

まちづくりフォーラムの開催結果

- 開催日時：令和7年2月24日（月）午前10時～午後0時25分
- 開催場所：柿崎コミュニティプラザ 4階 ホール
- 参加者数：63名
- 内 容：①柿崎区地域協議会の活動報告
②地域独自の予算事業の概要説明
③事業報告 かきざき空き家利活用協議会の取組状況について
上越地区産業廃棄物最終処分場整備の概要について

主な質疑応答

1 米山薬師を守る会

Q 1 山を守っていくことができないという地域は、全国に多くあると思う。そういった地域の情報収集を行っているか。

A 1 情報収集はまだ行っていない。「上越市内には山岳会がいくつかあるが、同じように会員が高齢化し会員も減っている。そういうところに協力、応援を要請しても、それぞれの地域の山を守っていくことに精いっぱいであって助けてもらえない」と柿崎山岳会から聞いた。

県外の山岳会には、登山道を整備しているところがあるようなので、取組状況を聞く必要があると思っている。

Q2 登山道は柏崎市側にもあるが、どのように管理しているのか。

A 2 山頂の避難小屋とトイレは、上越市と柏崎市で米山山頂避難小屋連絡協議会を組織し、経費を両市で負担して維持管理を行っている。柿崎山岳会と柏崎山岳会も、その協議会のメンバーとなっており、山頂の施設の維持管理に参加している。

一方、登山道の維持管理は、柿崎側の登山道は柿崎山岳会、柏崎市側の登山道は柏崎山岳会がそれぞれ行っている。

Q 3 米山の施設の中で、一番ネックになるのが山頂のトイレの維持管理である。最も人手がかかる。山頂のトイレを組み立てたり、撤去したりしないで済むように丈夫なトイレを造れないか。また、囲いのような設備を造り、登山者に携帯トイレを持参してもらって、囲いの中で用を済ませるようにすれば、手がかからなくなる。

草刈りや登山道の補修整備は、多くの人手は必要ない。市民でもできる整備は別として、風や雪等によって破損した個所は、我々では補修することができ

ないので市から行ってもらうしかないと考えている。

A 3 ご意見としてお聞きしたということですのでよろしいか。委員会の中で検討をしていきたい。

Q 4 柿崎山岳会を解散して、すぐに活動を止めるという話ではない。米山が好きで集まった会員なので、手伝えることは続けていきたいと思っている。

倒木処理は、我々でもできるので今後も協力したい。協力できる人が集まられるようなシステムを作ってほしい。

A 4 先ほどの説明の中でボランティアの話をしたが、山岳会の皆さんに、どのように話をしたらよいのか悩んでいた。「いくらでも協力する」と言っていたくと、大変心強い。

Q 5 私が以前住んでいた町にも、米山と同じくらいの標高の山があったが、山頂にトイレはなかった。トイレがなくても、登山している人は多くいた。

A 5 山頂にトイレがある山は珍しいと聞いた。先月、米山がテレビ番組で紹介され、番組の出演者は簡易トイレを用意していた。外国では当たり前らしいので、啓発活動に取り組んでいかなければいけないと思っている。

2 スポ×まちプロジェクト

Q 6 柿崎区というと、4月に米山山麓ロードレースがあり、「テニスのまち」でもある。今あるものを、さらに発展させるという視点で考えてもよいのではないか。

また、柿崎海岸にはイソスミレやアナマスミレ、ウンランなど、他の海岸では見られないような珍しい植物が自生している。イベントを絡めて、柿崎の財産を市民に知ってもらうこともよいと思う。柿崎には、まだいっぱいよいところがあると思うので、現状把握をしっかりと行ったらどうか。

A 6 柔軟な視点を持って活動したいと思っている。

Q 7 人工芝グラウンドで、若い人や子ども等がサッカーの試合をしているのを見かけた。また、野球場でも中学生が市内や長野から来たチームと試合を行っていたので、お金のかからない範囲で構わないが、たより等でPRをしてもらえれば、スポーツ好きな人は観戦するような気がする。小さいイベントでもPRをしてもらおうとありがたい。

A 7 PR方法については、検討していかなければならないと感じている。

Q 8 中学校の部活動の地域移行という課題がある。青少年に対するスポーツの取組を聞きたい。

A 8 各スポーツ団体の活動についてはまだ調査していないので、具体的な活動は把握できていない。スポーツイベントについては、スポーツを実施する人だけ

のイベントという捉え方をせずに、「見て楽しむ」「スポーツのルールを知る」ということも、スポーツへの参加と捉えている。

Q 9 従来から頸北4区というつながりもあるので、4区でまとまり協力していればと思っている。

3 ネットワーク柿崎

Q10 これから情報も充実していくとは思いますが、誰が作っても得られるような情報ではなくて、柿崎に住んでいる人だからこそ上げられるようなローカルな情報の充実を望んでいる。

上越や新潟県内だけの情報収集ではなく、全国だとか、世界から柿崎だとかになってほしい。海外から柿崎に移住し仕事をしている人もいるので、日本文だけではなく英文で柿崎を紹介することも必要である。

A10 もちろん上越に限らず、全国で素晴らしい情報発信を行っているサイトがあるので、情報収集していこうと考えている。

柿崎から世界へということまでイメージしていなかったが、そういったところもイメージしながら、どういう内容の情報を発信していくことがよいのかを考えていきたい。そして、誰でもが知っているような情報ではなく、柿崎区の人だからこそ発信できるような情報もあると思うので、そういった情報を、どのようにして発信していくかも考えていきたい。



※この内容は、予算の成立を前提としたものです。

令和7年度 柿崎区における主な事業

事業名	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
1 地域独自の予算事業	総務・地域振興Gほか	地域政策課ほか	7,373
地域住民がそこに住み続けていく上で誇りや愛着を持ち、暮らしの満足感や質を高めていけるよう、地域課題の解決や活力の向上を図るために、地域の実情に合った取組を実現する。 ①かきざき湖八重桜広場の八重桜の植樹事業（補助金 232千円） 担当：総務・地域振興グループ 地域住民の交流促進と地域のにぎわいを創出するため、市民の大切な水瓶である柿崎川ダムのかきざき湖八重桜広場において八重桜の植樹及び手入れ作業を実施する。 ②黒川黒岩ふれあい事業（補助金 1,725千円） 担当：総務・地域振興グループ 地域住民と出身者との交流促進、相互が一体となり地域を支え守ろうとする地域コミュニティの醸成を図るため、旧黒川小学校跡地の環境美化、米山古道の散策と遺跡めぐり、黒川黒岩ふれあいまつりを実施する。 ③柿崎時代夏まつり「下黒川地区夏まつり」事業（補助金 1,486千円） 担当：総務・地域振興グループ 地域の一体感や郷土愛を醸成するため、郷土の伝統芸能「十三夜」の伝承に向けた講習会や下黒川地区夏まつり等を開催する。 ④都市部大学生の農業体験交流事業（補助金 340千円） 担当：産業グループ 都市部の学生等の若者と農業者等の地域間交流を図るとともに、関係人口や交流人口の増加及び移住・定住・就農へつなげるため、農業に関心のある学生等の農業体験を受け入れて交流を行う。 ⑤坂田池園地桜植替え事業（補助金 560千円） 担当：産業グループ 桜並木の再生と美しい水辺環境を維持し、区内外からの来訪者の増加を図るとともに、子どもたちが自然環境の保全意識を高めるため、坂田池園地の桜植替えや桜の歴史の学習活動を行う。 ⑥地域活性化のための空き家利活用推進事業（補助金 1,814千円） 担当：総務・地域振興グループ 柿崎区内における空き家の利活用を進め、柿崎区内への移住・定住を促進するとともに、地域の活性化と生活環境を維持するため、空き家情報バンクの登録補助や空き家相談、柿崎の魅力発信などの空き家利活用推進事業を実施する。 ⑦第8回手しごと・手づくり柿崎・上越作品展（補助金 389千円） 担当：教育・文化グループ ものづくり文化の伝承と世代間交流を促進するとともに、いきいきと健康に暮らせる地域社会の構築を図るため、ものづくりに取り組む市民の作品発表の場を設ける。 ⑧猿毛城址登山道保存事業（補助金 508千円） 担当：教育・文化グループ 地域住民が地区の歴史・観光資源を再認識するとともに、環境整備・保存の意識を高めるため、登山道の樹木の管理や講演会の開催などの猿毛城址登山道保存事業を実施する。 ⑨「テニスのまち柿崎」スポーツ交流促進事業（補助金 319千円） 担当：教育・文化グループ 交流人口の増加を図るとともに、「テニスのまち柿崎」の歴史を次世代になが人材を育成するため、テニス大会やジュニアテニス教室の開催、リーフレットの作成を行う。			

	事業名	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
2	柿崎区地域振興事業	総務・地域振興G	地域政策課	5,327
	柿崎区の地域振興と活性化を図るために、市民活動団体等が実施する事業に対し、補助等により支援を行う。 ①柿崎区産業まつり（補助金 263千円） 柿崎区の農林漁業者・商工業者の協賛で柿崎区産業まつりを開催し、その中で地場産品の展示・即売を行うことにより、地場産品の消費拡大と産業の活性化を図る。 ②柿崎時代夏まつり（補助金 2,042千円） 柿崎区の象徴である柿崎和泉守景家公の偉業を称え、地域の活性化と市民の連携を図る。 ③地域資源活用等推進事業（補助金 688千円） 市民が連携を深め、互いに支え合い、安全で安心して暮らせる住み良いまちづくりを進めるため、地域活性化に向けたイベント・事業を行う。 ④お引き上げ商工まつり等（補助金 2,334千円） 柿崎区の伝統的イベントのお引き上げ商工まつりと納涼花火大会を開催することで、市民連携の高揚と観光客増加による地域の活性化を図る。			
3	地域集落支援事業	総務・地域振興G	地域政策課	36,228
	総務省の集落支援員制度を活用し、過疎地域等の集落の維持・活性化のため、集落の巡回・状況把握、住民同士の話し合いの促進、これらを通じ必要とされた具体的な取組やその取組主体となる地域運営組織などのサポートを行う「集落づくり推進員」を配置する。 - 令和7年3月1日現在、柿崎区で勤務する集落づくり推進員を募集中。 - 対象集落の選定：毎年3月31日時点の人口データを基に、中山間地域の高齢化率50%以上の集落を抽出し、総合事務所ごとに集落づくり推進員の対応が必要と考える集落を選定している。 【参考】R6年度対象集落 雁海、下中山、小萱、上小野、落合、下灰庭新田、芋島、松留、上中山、猿毛、城腰、下牧、平沢、岩野、米山寺、東横山、南黒岩、北黒岩			※予算額は市全体分
4	地域おこし協力隊を活用した集落支援	総務・地域振興G	地域政策課	5,264
	総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、地域外の人材を新たな担い手として受入れ、地域の維持、更なる活性化を図るとともに、3年後の定住を目指す。 - 隊員氏名 長谷川紘平（任期：令和7年3月1日から令和10年2月29日まで） - 活動地 芋島 - 支援活動 ①黒川・黒岩地区の棚田を核とした地域活動 ②生産性向上を担うスマート農業導入 ③情報発信による芋島ファンづくりと関係人口の拡大 ④就農、独立に向けた取組			
5	柿崎コミュニティプラザ管理運営費	総務・地域振興G	地域政策課	28,336
	上越市コミュニティプラザ条例に基づき、地域住民による自主的・自立的な地域づくり活動の拠点として利用できる施設の提供と適切な維持管理を行う。 - 市民利用 ホール、多目的ルーム、和室、会議室(3室) キッズルーム、市民活動室 - 施設管理委託料 2,590千円 - 揚水給水ポンプ取替、分解整備修繕工事(2基) 1,477千円			
6	柿崎コミュニティプラザ整備事業	総務・地域振興G	地域政策課	1,791
	地域住民による主体的・自立的な地域づくり活動の拠点となる施設及び13区における市政運営の拠点となる総合事務所庁舎として、安全・安心して、また、長期的に使用するための整備を適切に行う。 - エアコンコンプレッサー修繕工事 1,298千円 - 障害者駐車場表示板設置工事 493千円			

	事業名	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
7	町内会集会場設置費等補助金	総務・地域振興G	地域政策課	5,667
	町内会館の修繕に係る補助金 5,667千円 (上下浜、馬正面、川田、行法、百木) ・事業費 30万円以上 ・補助額 事業費の50% ・限度額 750万円			
8	消防施設管理費	総務・地域振興G	危機管理課	2,769
	消防活動が迅速かつ確実にできるよう消防器具置場、消防車両、小型動力ポンプ、消防水利施設を適切に維持管理する。 ・消防車両修繕費 1,327千円 ・消防車両点検等費 717千円			
9	消防水利施設の整備	総務・地域振興G	危機管理課	4,377
	消防活動が迅速かつ確実にできるよう消火栓、防火水槽施設を適切に維持管理する。 ・消火栓改良・移設工事(三ツ屋浜) 4,377円			
10	柿崎区農村公園管理運営費	産業G	農林水産整備課	526
	安全で快適な公園環境を維持する(七ヶ、下黒川、黒川)。 地元と協働管理事業協定を締結して効率的な管理を行う。			
11	多面的機能支払交付金	産業G	農林水産整備課	87,994
	農業の多面的機能を支える地域活動や地域資源の質的向上を図る共同活動を支援する。 ○多面的機能支払補助金 川西地区はじめ20活動組織(42集落) ・農地維持支払 30,428千円 ・資源向上支払(共同活動) 17,317千円 ・資源向上支払(長寿命化活動) 40,249千円			
12	中山間地域等活性化事業	産業G	農政課	54,981
	生産性向上等が困難な中山間地域における農業の確立と地域資源の利活用等を通じて農業、農村の活性化を図るため集落共同活動を支援する。 令和7年度からの第6期対策では、棚田地域振興加算を活用して、棚田地域の振興を図る取組を行う。 ・中山間地域等直接支払交付金 黒川・黒岩地区集落協定はじめ2協定(17集落)			
13	柿崎区露店市場運営事業	産業G	観光振興課	3,260
	毎月1日、11日、21日に開設する常設露店市場「一の日市」の開設及び管理を行う。 移動露店市場(お引き上げ商工まつり、納涼花火大会)の開設及び管理を行う。			
14	柿崎区観光振興対策事業	産業G	観光振興課	3,677
	柿崎観光協会と連携し、柿崎の観光資源の発掘を行うとともに、柿崎区の観光振興を図り観光施設への誘客、各種イベントへの集客を図る。 ・柿崎観光協会への補助金 ・米山山頂避難小屋連絡協議会負担金(山頂施設の維持管理及び山頂の環境整備)ほか			
15	柿崎区観光施設等整備事業	産業G	観光振興課	16,855
	観光施設の維持管理や整備を適切に行い、施設の安全性や快適性を確保するとともに、利用客の満足度を向上させ、交流人口の拡大とリピーターの増加を図る。 ・海水浴場等事業委託料 ・観光施設清掃・整備委託料 ・公衆トイレ維持管理委託料 ・米山関係工事及び委託料負担金 ほか			

	事業名	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
16	柿崎マリンホテルハマナス管理運営費 当市を訪れる観光客に安らぎと憩いの場を提供し、市内での長期滞在を促すことにより、市民との交流の促進や域内消費の拡大につなげ、地域の活性化を図る。 市民に休養の場を提供することにより健康の増進を図るとともに、柿崎区の観光拠点である宿泊温泉施設としてマリンホテルハマナスを運営し、施設利用者の増加に取り組む。 ・一般修繕、個所付け修繕 ・指定管理委託料 ほか	産業G	観光振興課	43,426
17	道路整備事業 市民生活の安全、利便性の向上と快適な生活環境の確保を図るため、生活関連道路の整備を行う。 ・馬正面川井線（道路改良） …合併施工負担金 N=1式 ・桃園線（側溝改良） …側溝改良工事 L=370m ・川井村中線（側溝改良） …用地買収・不動産鑑定 N=1式 ・三ツ屋浜村中線（側溝改良） …側溝改良工事 L=184m	建設G	道路課	48,256
18	柿崎区道路維持費 道路損傷箇所の修繕のほか、道路清掃、除草等の実施により、一般交通に支障を来さないよう、市道を維持管理する。 ・施設管理委託 ・道路維持修繕工事 ・計画的舗装修繕工事 2路線（黒岩芋ノ島線、覚戸線他） ・外側線の計画的修繕 1.12km（柳ヶ崎直海浜線他） ・災害防止対策工事 1路線（下牧村中線）	建設G	道路課	51,135
19	橋梁維持修繕業務 道路施設の維持管理を行うとともに、橋梁点検、橋梁修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する。 ・橋梁点検委託 N=1式 ・橋梁修繕工事 3橋（宮前橋、下条橋、無名橋）	建設G	道路課	168,948
20	柿崎区河川管理費 浸水被害の実績等を踏まえ、排水対策が必要な普通河川等の改修を行い、浸水被害の軽減を図る。 ・災害防止対策工事 3箇所（金谷、上下浜、坂田新田）	建設G	河川海岸砂防課	11,891
21	除雪費 冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、適切な除排雪作業を行い、車両や歩行者の通行が可能な状態を確保する。 【柿崎区の主な業務】 ・貸与除雪車維持管理費（貸与車両14台） ・市道除排雪委託（車道除雪延長125.73km） ・気象観測委託（3箇所）	建設G	雪対策室	88,885
22	消融雪施設管理費 消雪パイプや流雪溝など消融雪施設の適切な維持管理を行い、車両や歩行者の通行が可能な状態を確保する。 【柿崎区の主な業務】 ・消雪パイプ維持管理費（延長1.63km）	建設G	雪対策室	1,248
23	柿崎公共下水道維持管理 柿崎区の公共下水道施設の管理を適切に行う。 ・柿崎浄化センター運転管理 ・下水道管渠維持管理	建設G	生活排水対策課	92,638

	事業名	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
24	上越市住宅リフォーム促進事業	建設G	建築住宅課	70,000
	地域経済の活性化と住環境の改善を図るため、リフォーム工事費用の一部を補助する。			※予算額は市全体分
25	柿崎区公園管理費	建設G	都市整備課	998
	利用者が安全で快適に利用できるよう、都市公園の維持管理を行う。 ・あけぼの公園 ・住吉公園			
26	公立保育園運営費	市民生活・福祉G	幼児保育課	11,699
	保護者が安心して子どもを預けられるよう、保育サービスの充実及び保育環境の整備等を行う。 ○通園バス運行業務 ・運行業務委託 ・通園バス維持管理 ・通園バス新規購入 ○備品購入 ・上下浜保育園：砂場カバー ・下黒川保育園：安全歩行マット			
27	(仮称) 柿崎区新保育園整備事業	市民生活・福祉G	幼児保育課	49,299
	柿崎区内における公立4保育園を統合し、新たな保育園を整備するため、実施設計等を進める。			
28	地域支え合い事業（介護保険特別会計）	市民生活・福祉G	高齢者支援課	5,850
	高齢者が気軽に集い交流できる「通いの場(すこやかサロン)」等を開催し、閉じこもりや心身の機能低下を抑制しながら介護予防につなげる。また、「出前サロン」など地域の実情に合わせた取り組みにより参加機会を広げ、介護予防や認知症への理解を深める。			
29	かきざき福祉センター管理運営費	市民生活・福祉G	福祉課	4,799
	市民の健康増進と福祉の向上を図るための「地域福祉の拠点」として、地域支え合い事業や地域福祉団体等の活動の場に利用いただけるよう適切な管理運営を行う。			
30	頸北斎場管理運営費	市民生活・福祉G	福祉課	30,031
	頸北斎場の適正な維持管理に努め、安定的な運営を行うための保守点検及び施設設備の修繕を行う。 ○主な修繕工事 ・火葬炉耐火物他修繕 2号炉炉内セラミック貼替、筒管積替 3号炉火葬炉、前室制御盤機器交換 1から3号炉 電動モートルブロック交換 台車運搬車用バッテリー交換 ほか			
31	海岸一斉清掃（全市クリーン活動）	市民生活・福祉G	生活環境課	2,572
	柿崎区の海岸の環境美化・保全を図るため海岸一斉清掃を実施する。町内会等ボランティアが収集したごみ等は、重機を使い収集運搬し、処理施設において処分する。 ・実施日：7月初旬			

	事業名	担当G	木田庁舎課名	予算額(千円)
32	小・中学校関連事業（修繕・改修工事） 児童・生徒の安全・安心を確保するとともに、快適な教育環境の整備を図る。 ・ 柿崎小学校：遊具撤去（肋木・雲梯） ・ 上下浜小学校：特別支援学級エアコン設置工事 変圧器更新工事 プールサイド塩ビシート補修修繕 校舎1階ベランダ床修繕 電気室ドアノブ入替修繕 遊具撤去（雲梯・登はん棒） ・ 下黒川小学校：用務員室エアコン設置工事 遊具撤去（タイヤ塔・ブランコ） ・ 柿崎中学校：体育館南側玄関軒天防水改修 武道場スチールハンガー戸修繕	教育・文化G	教育総務課	9,908
33	柿崎区スクールバス運行事業 遠距離通学する児童生徒の通学手段及び安全を確保するとともに、児童生徒が参加する校外学習や課外活動、各種大会への有効利用を図り、柿崎区の教育環境の充実を推進する。 ・ 中型スクールバス購入	教育・文化G	学校教育課	50,000
34	柿崎区公民館管理運営費 参加者同士が学び合い、お互いに高め合う機会と場を提供しながら、人づくりを推進する。 ・ 地区公民館：灯油地下タンク廃止工事 高圧受変電設備修繕	教育・文化G	社会教育課	19,527
35	七ヶ地区コミュニティセンター管理運営費 集会、学習、レクリエーション活動などの多目的な活動の場を提供し、地域住民の生活文化の向上に寄与するため、施設の管理運営を行う。	教育・文化G	社会教育課	614
36	体育施設関連事業（修繕・改修工事等） 柿崎総合体育館（かきざきドーム）・人工芝グラウンド等、柿崎屋内プール、柿崎体育館、柿崎第一庭球コートの維持管理を行う。 ・ 柿崎第一庭球コート：人工芝張替工事	教育・文化G	スポーツ推進課	117,545